

子どものケータイと学校の「裏サイト」対応に 関する学会共同調査

1. 学校調査を中心に

調査の経緯

高旗正人(中国学園大学)

takja4fq-m@mx6.kct.ne.jp

サンプルの属性と生徒の生活

三枝恵子(東京成徳大学講師)

sae-sae3@ktj.biglobe.ne.jp

学校側が把握する「学校裏サイト」とケータイの現状、及び対応

須田康之(北海道教育大学旭川校)

suda@asa.hokkyodai.ac.jp

2. 生徒調査を中心に

生徒調査に見るケータイと「学校裏サイト」の現状

深谷和子(東京成徳大学特任)

kazukofukaya@nifty.com

「学校裏サイト」問題と地域及び生徒の意見

西本裕輝(琉球大学)

hirokin@lab.u-ryukyu.ac.jp

総括

深谷昌志(東京成徳大学)

mss.fukaya@nifty.com

調査の経緯

中国学園大学 高旗 正人

1. 調査の主旨

今回の学会共同調査は、「子どもの放課後調査」「学校調査」に続く3回目である。

学会共同調査の主旨は、すでに、第1回「子ども放課後調査」の際にも述べたように次の2点に集約できる。

1) 日本子ども社会学会として、各時代の日本の子どもの実態をデータとして所有し広く社会に発信することを、学会の使命と考える。

2) 1)のデータを蓄積することで、子どもたちの生活が社会変動によってどのように変貌するか時系列で追跡する。

今回、平成19年度の学会共同調査の公募条件はおおむね次の通りであった。

1) 前2回の共同調査のように全国的または国際的なスケールであること。

2) 原則として複数名からなる研究グループを編成すること。

3) 採択された研究グループは、研究成果を本学会に発表すること。

4) 応募期間は平成19年7月20日から8月20日まで。

2. 経緯

前回つまり、平成18年度は、本調査の採択条件にかなう応募が得られず、満を持して先に述べた条件の下で19年度募集に踏み切ったが、期日までの応募者が得られなかった。そこで今回はプロジェクト委員会提案のテーマ「子どものメールとネット使用に関する全国調査」または「学校裏サイト調査」で実施することになった。検討の末、前者をA班、後者をB班とし、2班に分けて研究を進行すること、本年度は、比較的調査作業が進展したアンケート調査班の前者A班を「子どものケータイと学校の「学校裏サイト」対応に関する学会共同全国調査」として学会発表することとした。B班は、山縣文治会員を中心として研究方法論を探り、本学会ではラウンドテーブルでの検討を行うことになった。(「学校裏サイトについては、別紙 参考<学校裏サイトの事例>」参照)

3. 調査担当者

平成19年12月の学会理事会において、共同研究事業プロジェクト委員会に19年度の学会共同調査の実施がゆだねられた。その後、委員会では深谷和子委員長のリーダーシップの下、調査票の作成、共同研究者の依頼、調査計画、調査票の印刷・発送、さらに回収、データ処理が急ピッチで行われた。全国調査であり、急を要するということで、前回の共同研究者がこの度は再度調査を担当することとなった。

本日の調査研究の報告は、発表資料の表紙に示したように1. 学校調査(高旗正人: 経緯・三枝恵子: サンプルの属性と生徒の生活・須田康之: 学校側が把握する「学校裏サイト」と携帯の現状、及び対応)と2. 生徒調査(深谷和子: 生徒調査に見るケータイと「学校裏サイト」の現状・西本裕輝: 「学校裏サイト」問題と地域及び生徒の意見・深谷昌志: 総括)とに担当を分けて分担して、結果の報告を行う。

4. 調査票の内容

1) 学校調査(管理職対象)

学校の所在地、学校ランク、生徒がケータイを学校へ持ち込むことへの対応、ケータイやネット利用、メディアリテラシー等に関する指導体制(対生徒、教員、保護者)、学校側の把握している学校裏サイトの開設状況、監視、削除要請件数、裏サイトに対する学校側の対応策、裏サイト対応の緊急性、裏サイトに関するトラブルの発生状況、生徒の裏サイト体験の推定。

2) 生徒調査(生徒対象)

基本的属性、生徒の生活、成績自己評価、生徒のケータイ所持率、携帯機能の利用状況、HPの立ち上げ率、クラスや学校の掲示板、裏サイトへの関心と態度、裏サイトによって攻撃にあった体験、傷つき体験、書き込み体験、傷つきへの対処、自己像等。

参考＜学校裏サイトの実例＞

多くはこのような警告が付記されて始まっている。

「ここでは、個人を特定できるような個人名、イニシャル、伏字などを書き込むことを禁止します。見つかった場合は削除しています。それでも個人名を出して、誹謗中傷する場合は、リモートホストを割りだして、サーバー会社に連絡、それでも特定個人の中傷が酷ければ、ネット回線切断、警察に通報します」(管理人)

こうした警告にも関わらず、生徒は活発に書き込みをしていく。

(以下、原文のまま)

まずは無難な始まり

- ・うちの学校、誰が可愛いと思いますか
- ・いないと思う
- ・じゃあ3年では？
- ・ずば抜けて可愛い人はいない
- ・矢さん、いいじゃないですか(中略)

たわいのないおしゃべりが、次第に発展していく

- ・田子、あなたのようなキモイ人がいては、目的も薄れてしまうくらいの不快感に襲われる。消えてください。
- ・あんたの目的なんて関係ないし。どうせ変な目的なんでしょ。そっちが消えればいいじゃん？
- ・そんな根拠のない推測で堂々としているところが、とっても不快！

誹謗中傷に発展する

- ・中学裏サイトが1000超えたしね
せんこうにばれてるしね
ということで移転したとか
嫌いな奴の悪口書くのも
嫌いなせんこうの悪口書くのも自由
さあ、かきこ(カキコミ)しよう
- ・2年の春 キモイ。あの性格でいじめられんのが不思議じゃん？援交の写真ばらまこうかな
- ・なんで写真持ってだァァ??
- ・春 弘 のこと嫌いな人集まれ！
- ・あいつ、どうみてもキメーした変な教室におけるしインキャだしマジメだしゲロス

・知ってる？2年5組の山 良 って最低な奴なんだよ！みんなの悪口ばかり言って最低なヤツ！だから友だちにはならないほうがいいよ！忠告です。

・マジで？

・Aさん、そういう自分だって人の悪口いってるじゃん！！

・まったく縁もゆかりもない俺だが、とりあえず 中学と 市教育委員会にこのURLは送っとくわ。

抑止力の働くこともある

・おい、お前ら正気か、言いたいことがあるなら本人に言えよ。本当にクズばかりだな。お前らが 中学の名前汚してるのわかるか??おかしいぞ。おい管理人！！オマエに言ってるんだぞ。俺だって自慢できるほど、学校生活楽しくねーよ。でもな、それでも必死になって生きてるんだぞ。なのにこんなことしてる奴がいると思うと、恥ずかしいよ。すぐに消せよ。大事になる前にな。

・俺もここの生徒だけど、確かにデブ、キモイのもいる！！でもこんなことするな。どうせ2年5組の生徒が作ったサイトだろ！！分かってんだよ、小 治 15番！このサイトを今すぐ消せ！そうしないと被害者がもっと増えるんだよ。あと、書き込みをするな。

(以上)

1. 生徒調査を中心に

サンプルの属性と生徒の生活

三枝恵子(東京成徳大学講師)
sae-sae3@ktj.biglobe.ne.jp

1. 調査概要

調査対象:全国公立中学校を 1/20抽出し学校調査を依頼。43都道府県179校より回答回収率32.1%。

学校調査179校のうち、生徒調査への協力が得られた27都道府県の61校の
中学2年生2222名(男子1161名、女子1061名)。

調査実施期間:平成20年2月～3月

調査方法:学校通しの質問紙調査

表1 調査地域

都道府県	学校調査(校)	生徒調査(人)	都道府県	学校調査(校)	生徒調査(人)	都道府県	学校調査(校)	生徒調査(人)
北海道	11	261	富山	2	0	岡山	11	312
青森	2	0	石川	2	30	広島	3	66
岩手	4	0	福井	2	0	山口	2	54
宮城	2	0	岐阜	5	0	徳島	1	0
秋田	2	37	長野	8	142	香川	1	0
山形	3	27	静岡	8	59	愛媛	0	0
福島	3	0	愛知	3	75	高知	2	0
茨城	5	73	三重	1	0	福岡	3	0
栃木	4	60	滋賀	2	0	佐賀	4	21
群馬	4	62	京都府	3	36	長崎	1	29
埼玉	10	124	大阪府	4	29	熊本	1	0
千葉	8	154	兵庫	5	0	大分	2	0
東京	17	250	奈良	2	34	宮崎	0	0
神奈川	6	71	和歌山	4	60	鹿児島	4	33
山梨	0	0	鳥取	2	39	沖縄	4	31
新潟	6	53	島根	0	0	合計	179校	2222人

2. サンプルの属性

1) 学校調査

表2 回答者

校長	教頭	教務主任	その他
30.2%(54校)	35.8%(64校)	7.8%(14校)	26.3%(47校)

表3 記入者の年齢

30代	6.2% (11校)
40代	32.0% (57校)
50代	55.1% (98校)
60代	6.7% (12校)

表4 学校規模

100名未満	2.8% (5校)
100名～199名	13.6% (24校)
200名～299名	21.5% (38校)
300名～399名	19.2% (34校)
400名～499名	21.5% (38校)
500名～599名	10.7% (19校)
600名～699名	4.5% (8校)
700名～799名	2.8% (5校)
800名以上	3.4% (6校)

表5 学級数

1クラス～4クラス	5.1% (9校)
5クラス～9クラス	29.2% (52校)
10クラス～14クラス	33.1% (59校)
15クラス～19クラス	24.2% (43校)
20クラス以上	8.4% (15校)

表6 学校が把握する2年生の通塾率

1割未満	2.7% (4校)
1割～2割未満	6.0% (9校)
2割～3割未満	6.0% (9校)
3割～4割未満	11.4% (17校)
4割～5割未満	14.8% (22校)
5割～6割未満	16.8% (25校)
6割～7割未満	18.8% (28校)
8割以上	23.5% (35校)

表7 学校が推測する卒業生の大学進学率

1割未満	1.0% (1校)
1割～2割未満	9.5% (10校)
2割～3割未満	18.1% (19校)
3割～4割未満	25.7% (27校)
4割～5割未満	18.1% (19校)
5割～6割未満	10.5% (11校)
6割～7割未満	8.6% (9校)
8割以上	8.6% (9校)

表8 学校所在地の特性

大都市	13.0% (23校)
中都市	24.9% (44校)
小都市	27.1% (48校)
農村・漁村	20.9% (37校)
その他	14.1% (25校)

表9 学校校への持ち込みへの対応

禁止	98.3% (174校)
往復や塾の行き帰りには黙認	1.1% (2校)
とくに指導せず生徒にまかせている	0.6% (1校)

表10 裏サイト問題に対する学校として対応

学校として対応している	66.1% (117校)
特に対応していない	33.9% (60校)

()内の数値は学校数

2) 生徒調査－属性と生徒の生活

表11 生徒の住む地域の特性 (%)

大都市	5.5
中・小都市	52.1
自然の多い地域(農山村など)	36.5
その他	5.9

表12 部活への積極性 (%)

	運動系部活		文化系部活		部活に入っていない
	積極的に活動	不熱心	積極的に活動	不熱心	
全体	62.1	7.8	13.5	4.9	11.6
男子	72.9	9.3	3.5	2.7	11.7
女子	50.5	6.3	24.4	7.3	11.6

(p<0.001)

表13 通塾率 (%)

	行っている	行っていない
全体	46.7	53.3
男子	46.2	53.8
女子	47.2	52.8

表14 通塾数(週に通っている回数) (%)

	1回~2回未満	2回~3回未満	3回~4回未満	4回~5回未満	5回以上
全体	13.6	48.2	29.7	5.9	2.5
男子	12.4	47.6	30.7	6.0	3.4
女子	14.9	48.9	28.7	5.9	1.6

表15 授業がある日の家での勉強時間 (%)

	ほとんど しない	30分か それ以下	1時間 くらい	1時間半 くらい	2時間 くらい	2時間半 くらい	3時間か それ以上
全体	24.7	25.1	25.6	10.8	7.7	2.9	3.1
	75.4						
男子	25.3	25.3	26.3	10.2	7.2	2.4	3.1
女子	24.0	24.9	24.9	11.5	8.2	3.4	3.1

表16 成績 (%)

	上の方	中の上	ふつう	やや下の方	下の方
全体	10.0	17.9	33.4	20.8	17.9
男子	12.3	18.6	31.2	19.4	18.5
女子	7.4	17.2	35.9	22.3	17.2

($p < 0.05$)

表17 授業がある日のテレビ視聴時間 (%)

	ほとんど 見ない	30分か それ以下	1時間 くらい	1時間半 くらい	2時間 くらい	2時間半 くらい	3時間か それ以上
全体	3.5	5.3	14.4	13.8	23.7	14.7	24.6
	63.0						
男子	4.0	4.7	15.2	13.6	26.1	13.7	22.7
女子	3.0	5.9	13.5	14.0	20.9	15.8	26.8

($p < 0.05$)

表18 授業がある日のテレビゲームをする時間 (%)

	ほとんど しない	30分か それ以下	1時間 くらい	1時間半 くらい	2時間 くらい	2時間半 くらい	3時間か それ以上
全体	55.2	13.1	13.0	6.9	5.8	2.1	4.0
男子	33.0	17.0	20.0	10.8	9.4	3.3	6.5
女子	79.3	8.8	5.3	2.7	1.8	0.8	1.3
	3.9						

($p < 0.001$)

表19 学校の楽しさ (%)

	とても 楽しい	わりと 楽しい	どちらでも ない	あまり 楽しくない	全然 楽しくない
全体	29.4	41.5	16.3	7.0	5.8
男子	29.9	41.4	16.7	5.8	6.2
女子	28.8	41.6	15.8	8.4	5.4

表20 学校以外で過ごす時間の楽しさ (%)

	とても 楽しい	わりと 楽しい	どちらでも ない	あまり 楽しくない	全然 楽しくない
全体	42.4	42.9	11.0	1.9	1.9
男子	45.8	39.7	11.0	1.5	2.0
女子	38.7	46.4	10.9	2.3	1.7

(p<0.05)

表21 学校に行きたくないこと (%)

	よくある	時々ある	あまりない	全然ない
全体	18.8	40.5	26.6	14.2
男子	16.9	37.4	28.1	17.6
女子	20.8	43.7	25.0	10.5

(p<0.001)

表22 自分用の携帯所有率 (%)

	持っている	持っていない
全体	50.9	49.1
男子	43.6	56.4
女子	58.6	41.4

(p<0.001)

表23 ケータイ所有×学校所在地の特性 (%)

	ケータイ所有	
	有	無
大都市	70.3	29.7
中・小都市	55.2	44.8
自然の多い地域(農山村など)	44.6	55.4
その他	37.8	62.2

(p<0.001)

表24 ケータイ所×部活への積極性 (%)

	ケータイ所有	
	有	無
運動系部活 積極的に活動	49.0	51.0
運動系部活 不熱心	47.1	52.9
文化系部活 積極的に活動	55.4	> 44.6
文化系部活 不熱心	56.6	> 43.4
部活に入っていない	56.8	> 43.2

(p<0.05)

表25 ケータイ所有×学習塾 (%)

	ケータイ所有	
	有	無
学習塾に通っている	54.9	> 45.1
通っていない	47.7	52.3

(p<0.001)

表26 ケータイ所有×勉強時間 (％)

	ケータイ所有	
	有	無
ほとんどしない	57.7 >	42.3
30分かそれ以下	51.8	48.2
1時間くらい	46.9	53.1
1時間半くらい	41.4 <	58.6
2時間くらい	51.8	48.2
2時間半くらい	54.0	46.0
3時間かそれ以上	62.5 >	37.5

(p<0.001)

表27 ケータイ所有×テレビの視聴時間 (％)

	ケータイ所有	
	有	無
ほとんど見ない	59.0 >	41.0
30分かそれ以下	44.3 <	55.7
1時間くらい	49.2	50.8
1時間半くらい	45.7	54.3
2時間くらい	49.4	50.6
2時間半くらい	51.1	48.9
3時間かそれ以上	56.5 >	43.5

(p<0.05)

表28 成績×ケータイ所有 (％)

	ケータイ所有	
	有	無
上の方	43.9 <	56.1
中の上	44.8 <	55.2
普通	49.9	50.1
やや下の方	54.4 >	45.6
下の方	59.9 >	40.1

(p<0.001)

表29 自己評価 (％)

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	全然 違う	性別	
					男子	女子
【友だち関係】						
同じ学校の友だちがたくさんいる	30.1	51.1	16.0	2.8	82.7	79.7
学校以外の友だちがたくさんいる	16.7	31.9	35.3	16.1	46.6	50.7
友だちと一緒にいるより、一人でいる方が好き	6.9	18.4	40.1	34.7	26.8	23.5
会ったことのないネットやケータイ上の友だちがたくさんいる	7.0	10.8	19.6	62.6	14.4	21.5
【ケータイ・ゲーム関係】						
ゲームしているときの自分は、とても有能だ	8.0	13.7	27.1	51.1	31.2	11.5
オンラインゲームにはまっている	6.1	7.4	17.8	68.7	18.1	8.4
ケータイでゲームするのに、はまっている	3.1	6.9	21.8	68.2	10.6	9.4
大人になったらゲームソフトを作る仕事がしたい	3.2	5.6	12.0	79.2	13.5	3.7
朝までゲームをしてしまうことがよくある	2.9	2.6	11.1	83.4	7.0	3.9

性別の数値は「とても+わりとそう」の割合 (* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001)

表30 ケータイ所有×自己評価 (％)

	ケータイ所有		
	有	無	
【友だち関係】			
同じ学校の友だちがたくさんいる	52.4	47.6	*
学校以外の友だちがたくさんいる	59.2	40.8	***
友だちと一緒にいるより、一人でいる方が好き	49.4	50.6	
会ったことのないネットやケータイ上の友だちがたくさんいる	65.7	34.3	***
【ケータイ・ゲーム関係】			
ゲームしているときの自分は、とても有能だ	43.2	56.8	***
オンラインゲームにはまっている	47.4	52.6	*
ケータイでゲームするのに、はまっている	73.5	26.5	***
大人になったらゲームソフトを作る仕事がしたい	42.7	57.3	***
朝までゲームをしてしまうことがよくある	60.3	39.7	*

「とても+わりとそう」の割合の中での所有率

(* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001)

表31 ケータイ所有×自己評価・性 (％)

	有意差	男子		女子		有意差
		有	無	有	無	
【友だち関係】						
同じ学校の友だちがたくさんいる	***	44.8	55.2	60.7	39.3	**
学校以外の友だちがたくさんいる	***	52.6	47.4	65.4	34.6	***
友だちと一緒にいるより、一人でいる方が好き		41.6	58.4	58.5	41.5	
会ったことのないネットやケータイ上の友だちがたくさんいる	**	50.6	49.4	76.0	24.0	***
【ケータイ・ゲーム関係】						
ゲームしているときの自分は、とても有能だ		40.6	59.4	50.0	50.0	*
オンラインゲームにはまっている	**	44.6	55.4	54.7	45.3	
ケータイでゲームするのに、はまっている	***	75.0	25.0	72.2	27.8	***
大人になったらゲームソフトを作る仕事がしたい	*	39.1	60.9	52.6	47.4	*
朝までゲームをしてしまうことがよくある	**	57.9	42.1	62.5	37.5	

「とても+わりとそう」の割合の中での所有率

(* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001)

結果の要約

(1) ほとんどの学校(98.3%)は、ケータイの学校への持ち込みを禁止している。80%以上の学校では、ケータイ使用やインターネットの危険性について、学校で特別に時間を設けて指導しているが、指導のための特別な時間を設けていない学校も20%程度存在する。教職員の間ではケータイやインターネットの危険性についての認識が広がってきており、半数以上の学校で保護者に重要なテーマとして呼びかけている。

(2) 学校裏サイトの開設状況については、まだ開設されていないと思うと回答した学校が36%、開設されているらしいがよく把握できていないと回答した学校が30%であるのに対して、「内容に問題があって困っている」(18.0%)、「サイトを閉鎖させたことがある」(11.4%)をあわせると、30%近くの学校で学校裏サイトに関連する問題が生じている。

(3) 最近3年間に学校裏サイトに関連したトラブルがあると回答した学校は90校で、これは全体の51.1%にあたる。うち、87校(96.7%)が、このトラブルを「生徒間トラブル」として認識している。生徒間トラブルの件数は1校あたり3件までが多いが、20件と回答した学校も存在する。

(4) 教師による現状把握(表11)として、「自分のケータイを持っている生徒」(47.0%)、「ケータイをこっそり学校に持ってきている生徒」(6.8%)、「友達から嫌がらせメールを送られたことがある生徒」(10.8%)と、学校側は予測している。しかし、「裏サイトに自分のことを書き込まれ嫌な思いをしたことのある生徒」、「自分のことでなくても書き込まれた内容を見て嫌な思いをした生徒」、「裏サイトに他人の悪口などの書き込みをしたことのある生徒」、「出会い系サイトに書き込みをしたことのある生徒」については実状を把握しきれていないのが現状のようで、4割以上の学校で「よくわからない」と回答している。

(5) 裏サイト問題に対応しているとした学校は、117校(66.1%)である。職員会議で教職員の認識を深めているや、保護者会で注意を呼びかけているが多い。既に、20%以上の学校では、裏サイト問題の対応の教員を置いていると回答している。その他13件の自由記述から、警察と連携し生徒・保護者を対象としたネット犯罪防止講演会の開催をしたり、PTAを中心とした研修会の開催がなされたりしていることがわかる。

(6) 今後の「学校裏サイト」への対応(表24)として、裏サイトの監視を有料の業者に委託する、裏サイト問題に対応する教員をおく、PTAが裏サイトを継続的に監視するについては、半数以上の学校でまだ必要はないとしながらも、全ての学校が「不適切な書き込みに対しては管理者を特定できる方法(法律等)をつくり削除を求める」ことに賛成している(表23)。多くの学校では、保護者に注意を呼びかけること、生徒に注意を呼びかけること、道徳教育を強化することを直ちに必要と考えており、特に10学級以上の学校でその必要性を強く感じている。

(1) 生徒のケータイ使用についての学校としての対応

1) 学校への持ち込みへの対応

表1 学校への持ち込みの対応

対応の仕方	学校数(%)
1. 学校への持ち込み(使用)禁止	174(98.3)
2. 往復や塾の行き帰りには黙認	2(1.1)
3. とくに指導せず生徒にまかせている	1(0.6)
計	177(100.0)

2) ケータイ使用やインターネットの危険性等の指導に、学級活動その他で時間を設けたか

表2 指導に費やした時間

危険性等の指導に費やした時間	学校数(%)
1. 何時間も	29(16.2)
2. 1・2時間	116(64.8)
3. 特別な時間を設けていない	34(19.0)
計	179(100.0)

3) ケータイ使用やインターネットの危険性についての教職員への注意喚起

表3 教職員への注意喚起

教職員への注意喚起	学校数(%)
1. とくにはしていない	0(0.0)
2. 時に話題にしている	116(64.8)
3. 重要なテーマとしてとりあげている	63(35.2)
計	179(100.0)

4) P T Aなどで保護者への注意喚起

表4 保護者への注意喚起

保護者への注意喚起	学校数(%)
1. 呼びかけていない	4(2.2)
2. 一応呼びかけている	71(39.7)
3. 重要なテーマとして呼びかけている	104(58.1)
計	179(100.0)

(2) 各校における裏サイト(生徒による情報交換のサイト)開設の状況

表5 学校裏サイトの開設状況

選択肢	学校数(%)
1. まだ開設されていない(と思う)	63 (35.8)
2. 開設されているらしいがよく把握できない	53 (30.1)
3. 内容に問題がないのでそのままにしている	7 (4.0)
4. 内容に問題があって困っている	33 (18.0)
5. サイトを閉鎖させたことがある	20 (11.4)
合計	176 (100.0)

表6 学校裏サイトの開設状況(学級数別、地域特性別)

選択肢	学級数別 **						地域特性別				
	1-4	5-9	10-14	15-19	20-	校数	大都市	中小都市	農山漁村	その他	校数
1. まだ開設されていない(と思う)	6	22	23	8	4	63	8	31	19	5	63
%	66.7	44.0	39.0	18.2	28.6	53.8	34.8	34.1	51.4	21.7	36.2
2. 開設されているらしいがよく把握できない	1	10	25	12	5	53	4	31	9	8	52
%	11.1	20.0	42.4	27.3	35.7	30.1	17.4	34.1	24.3	34.8	29.9
3. 内容に問題がないのでそのままにしている	0	4	2	1	0	7	2	3	0	2	7
%	0.0	8.0	3.4	2.3	0.0	4.0	8.7	3.3	0.0	8.7	4.0
4. 内容に問題があって困っている	1	9	3	15	5	33	7	15	5	5	32
%	11.1	18.0	5.1	34.1	35.7	18.0	30.4	16.5	13.5	21.7	18.4
5. サイトを閉鎖させたことがある	1	5	6	8	0	20	2	11	4	3	20
%	11.1	10.0	10.2	18.2	0.0	11.4	8.7	12.1	10.8	13.0	11.5
合計	9	50	59	44	14	176	23	91	37	23	174
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(²検定; ***<0.001 **<0.01 *<0.05 以下同様)

(3) 最近3年間での学校裏サイトに関連したトラブル

1) トラブルの有無

表7 最近3年間の裏サイトに関連したトラブルの有無

トラブルの有無	学校数(%)
なし	86(48.9)
あり	90(51.1)
合計	176(100.0)

表8 裏サイトに関連したトラブル(学級数別、地域特性別)

トラブルの有無	学級数別(**)						地域特性別(*)				
	1-4	5-9	10-14	15-19	20-	校数	大都市	中小都市	農山漁村	その他	校数
なし	8	32	30	11	5	86	10	46	23	6	85
%	88.9	61.5	52.6	25.0	35.7	48.9	43.5	51.7	62.2	24.0	48.9
あり	1	20	27	33	9	90	13	43	14	19	89
%	11.1	38.5	47.4	75.0	64.3	51.1	56.5	48.3	37.8	76.0	51.1
合計	9	52	57	44	14	176	23	89	37	25	174
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2) 学校として把握できた最近3年間の「生徒間トラブル」

表9 生徒間トラブルの件数

トラブル件数(件)	学校数(%)
0	3(3.3)
1	14(15.6)
2	18(20.0)
3	30(33.3)
4	4(4.4)
5	9(10.0)
6	6(6.7)
7	3(3.3)
10	2(2.2)
20	1(1.0)
合計	90(100.0)

注)「数件」という3校からの回答を「3件」にカウント。「多件」という1校からの回答を「10件」にカウント。この他、2校からの2~3件を「3件」、1校からの3~4件を「4件」、1校からの4~5件を「5件」、3校からの5~6件を「6件」にカウントした。表10も同様。

表10 生徒間トラブルの件数(学級数、地域特性別)

単位: 学校数(%)

トラブル件数	学級数						地域特性				
	1-4	5-9	10-14	15-19	20-	計	大都市	中小都市	農山漁村	その他	計
0	0(0.0)	1(33.3)	2(66.7)	0(0.0)	0(0.0)	3(100.0)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	3(100.0)
1	0(0.0)	3(21.4)	6(42.9)	4(28.6)	1(7.1)	14(100.0)	1(7.1)	7(50.0)	5(35.7)	1(7.1)	14(100.0)
2	0(0.0)	5(27.8)	9(50.0)	3(16.7)	1(5.6)	18(100.0)	1(5.6)	12(66.7)	1(5.6)	4(22.2)	18(100.0)
3	1(3.3)	10(33.3)	4(13.3)	11(36.7)	4(13.3)	30(100.0)	7(24.1)	8(27.6)	6(20.7)	8(27.6)	29(100.0)
4	0(0.0)	0(0.0)	3(75.0)	1(25.0)	0(0.0)	4(100.0)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(50.0)	4(100.0)
5	0(0.0)	1(11.1)	3(33.3)	5(55.6)	0(0.0)	9(100.0)	1(11.1)	6(66.7)	1(11.1)	1(11.1)	9(100.0)
6	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(83.3)	1(16.7)	6(100.0)	0(0.0)	5(83.3)	0(0.0)	1(16.7)	6(100.0)
7	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	1(33.3)	3(100.0)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	1(33.3)	3(100.0)
10	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	2(100.0)	0(0.0)	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(100.0)
20	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	1(100.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)
合計	1(1.1)	20(22.2)	27(30.0)	33(36.7)	9(10.0)	90(100.0)	13(14.6)	43(48.3)	14(15.7)	19(21.3)	89(100.0)

注)「数件」という3校からの回答を「3件」にカウント。「多件」という1校からの回答を「10件」にカウント。

(4) 教師による現状把握(以下ような生徒は全体の何%程度いると考えるか。)

表11 教師から見た生徒の現状

単位:学校数(%)

割合	項目						
	1) 自分用のケータイを持っている生徒	2) ケータイをこっそり学校に持っている生徒	6) 友達から嫌がらせのメールを送られたことのある生徒	3) 裏サイトに自分のことを書き込まれ嫌な思いをしたことのある生徒	4) 自分のことでも書き込まれた内容を見て嫌な思いをしたことのある生徒	5) 裏サイトに他人の悪口などの書き込みをしたことのある生徒	7) 出会い系サイトに書き込みをしたことのある生徒
1) よくわからない	20(11.6)	35(20.2)	49(28.2)	68(39.3)	73(42.0)	73(42.2)	83(48.3)
2) 0%	2(1.2)	35(20.2)	12(6.9)	31(17.9)	28(16.1)	32(18.5)	37(21.5)
3) 0%~10%未満	3(1.7)	56(32.4)	54(31.0)	48(27.7)	34(19.5)	45(26.0)	34(19.8)
4) 10%以上~20%	12(7.0)	32(18.5)	26(14.9)	20(11.6)	22(12.6)	18(10.4)	13(7.6)
5) 20%以上~30%	10(5.8)	8(4.6)	18(10.3)	3(1.7)	9(5.2)	3(1.7)	2(1.2)
6) 30%以上~40%	33(19.1)	5(2.9)	9(5.2)	1(0.6)	4(2.3)	1(0.6)	2(1.2)
7) 40%以上~50%	15(8.7)	1(0.6)	4(2.3)	0(0.0)	2(1.2)	0(0.0)	0(0.0)
8) 50%以上~60%	19(11.0)	0(0.0)	2(1.1)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
9) 60%以上~70%	23(13.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.6)	2(1.2)	1(0.6)	1(0.6)
10)70%以上	36(20.8)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合計	173(100.0)	173(100.0)	174(100.0)	173(100.0)	173(100.0)	173(100.0)	172(100.0)
予測値(%)	47.0	6.8	10.8	5.2	8.3	4.8	4.4

表12 自分用のケータイを持っている生徒の割合(表11の1)) 単位:学校数(%)

割合	大都市	中小都市	農山漁村	その他	合計
1) よくわからない	6(26.1)	10(11.4)	3(8.3)	1(4.2)	20(11.7)
2) 0%	0(0.0)	1(1.1)	1(2.8)	0(0.0)	2(1.2)
3) 0%~10%未満	0(0.0)	0(0.0)	3(8.3)	0(0.0)	3(1.8)
4) 10%以上~20%	0(0.0)	3(3.4)	8(22.2)	1(4.2)	12(7.0)
5) 20%以上~30%	0(0.0)	3(3.4)	4(11.1)	3(12.5)	10(5.8)
6) 30%以上~40%	0(0.0)	20(22.7)	8(22.2)	5(20.8)	33(19.3)
7) 40%以上~50%	1(4.3)	9(10.2)	2(5.6)	3(12.5)	15(8.8)
8) 50%以上~60%	3(13.0)	7(8.0)	4(11.1)	3(12.5)	17(9.9)
9) 60%以上~70%	1(4.3)	18(20.5)	1(2.8)	3(12.5)	23(13.5)
10)70%以上	12(52.2)	17(19.3)	2(5.6)	5(20.8)	36(21.1)
合計	23(100.0)	88(100.0)	36(100.0)	24(100.0)	171(100.0)
予測値(%)	74.1	49.0	27.8	46.9	46.8

(²検定:P<0.001)
(F検定:P<0.001)

表13 ケータイをこっそり学校に持っている生徒の割合(表11の2)) 単位:学校数(%)

割合	大都市	中小都市	農山漁村	その他	合計
1) よくわからない	7(30.4)	22(25.0)	4(11.1)	2(8.3)	35(20.5)
2) 0%	2(8.7)	13(14.8)	17(47.2)	3(12.5)	35(20.5)
3) 0%~10%未満	7(30.4)	31(35.2)	10(27.8)	8(33.3)	56(32.7)
4) 10%以上~20%	4(17.4)	14(15.9)	3(8.3)	9(37.5)	30(17.5)
5) 20%以上~30%	1(4.3)	5(5.7)	2(5.6)	0(0.0)	8(4.7)
6) 30%以上~40%	1(4.3)	2(2.3)	0(0.0)	2(8.3)	5(2.9)
7) 40%以上~50%	0(0.0)	1(1.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.6)
8) 50%以上~60%	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
9) 60%以上~70%	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
10)70%以上	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.6)
合計	23(100.0)	88(100.0)	36(100.0)	24(100.0)	171(100.0)
予測値(%)	12.9	6.8	2.7	7.8	6.7

(²検定:P<0.01)
(F検定:P<0.05)

表14 友達から嫌がらせメールを送られたことのある生徒(表11の6)) 単位: 学校数(%)

割合	学級数	1-4 学級	5-9 学級	10-14 学級	15-19 学級	20 学級以上	合計
1) よくわからない	1(11.1)	17(33.3)	11(19.0)	17(40.5)	3(21.4)	49(28.2)	
2) 0%	2(22.2)	4(7.8)	2(3.4)	4(9.5)	0(0.0)	12(6.9)	
3) 0% ~ 10%未満	2(22.2)	9(17.6)	22(37.9)	12(28.6)	9(64.3)	54(31.0)	
4) 10%以上 ~ 20%	4(44.4)	12(23.5)	6(10.3)	3(7.1)	1(7.1)	26(14.9)	
5) 20%以上 ~ 30%	0(0.0)	5(9.8)	8(13.8)	5(11.9)	0(0.0)	18(10.3)	
6) 30%以上 ~ 40%	0(0.0)	3(5.9)	4(6.9)	1(2.4)	1(7.1)	9(5.2)	
7) 40%以上 ~ 50%	0(0.0)	1(2.0)	3(5.2)	0(0.0)	0(0.0)	4(2.3)	(² 検定: P<0.05)
8) 50%以上 ~ 60%	0(0.0)	0(0.0)	2(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.1)	(F検定: 有意差なし)
合計	9(100.0)	51(100.0)	58(100.0)	42(100.0)	14(100.0)	174(100.0)	
予測値(%)	5.8	11.5	13.4	8.4	5.9	10.8	

(5) 裏サイト問題に対する学校としての対応状況

1) 学校としての対応

表15 対応の有無

項目	学校数(%)
1. 対応している	117(66.1)
2. 特に対応していない	60(33.9)
計	177(100.0)

表16 裏サイト問題に対する対応方法 (表15で「対応している」と回答した117校について)

対応方法	はい	いいえ
職員会議で教職員に認識を深めている	100(87.7)	14(12.3)
保護者会で注意を呼びかけている	99(86.1)	16(13.9)
親にプリントを配布して注意している	73(65.2)	39(34.8)
生徒にプリントを配布している	71(64.0)	40(36.0)
特別に時間を設けて生徒を指導している	46(41.8)	64(58.2)
裏サイト関連で特別に全校集会を開いたことがある	30(26.5)	83(73.5)
裏サイト問題対応の教員を置いている	26(23.4)	85(76.7)

その他(13件)

・保護者からの苦情が多く、緊急の対応が必要なときが多々ある/・県警サーバー課による指導・講習を定期的に実施/・2月に生徒には警察所生活安全課課長を講師にネット犯罪防止講演会を予定している。同じく2月に保護者対象に県警ハイテク犯罪対策室職員を講師にネット犯罪防止講演会を予定している。/・トラブルの時に見るなど指導/・愛知県警サイバー防止対策室から講師を招き、生徒・保護者への啓発を行った。(サイバー犯罪全般について)/・PTA研修会で取りあげた。「携帯の危険性・問題」/・PTAで保護者対象の研修会を行った講師、府警本部少年センターの担当者/・折を見て、サイトをチェックする職員がおり個別に、必要な指導を行っている/・問題のある内容(個人情報)は、削除依頼をして削除している/・校区のPTA連絡協議会を中心に、その他社会教育諸団体もまきこんで研修会等を行っている。/・教育活動の中で折にふれて呼びかけている/・町内、小・中・高5校による町P連による、講演会の設定、学習会/・特に裏サイトと限定した形での指導は行っていません。

2) 学校としての裏サイトの監視

表17 裏サイトの監視方法

単位: 学校数(%)

裏サイトの監視	はい	いいえ
1. 教員が継続的に監視している	55 (32.9)	112 (67.1)
2. P T A が継続的に監視している	1 (0.6)	163 (99.4)
3. 監視を業者に委託している	1 (0.6)	163 (99.4)

a) 生徒への対応と生徒の反応

表18 裏サイトを見つけたら報告するように指導(**)

単位: 学校数(%)

地域特性 回答	学校数 (%)	大都市	中小都市	農山漁村	その他
はい	60(36.4)	14(63.6)	22(26.2)	12(33.3)	11(50.0)
いいえ	105(63.6)	8(36.4)	62(73.8)	24(66.7)	11(50.0)
合計	165(100.0)	22(100.0)	84(100.0)	36(100.0)	22(100.0)

(欠損値 1)

表19 生徒等からの裏サイトについての報告の有無(*)

単位: 学校数(%)

学級数 回答	学校数 (%)	1-4	5-9	10-14	15-19	20-
まだない	94(56.0)	6(85.7)	31(66.0)	35(61.4)	15(34.1)	7(53.8)
何回かあった	72(42.9)	1(14.3)	16(34.0)	22(38.6)	28(63.6)	5(38.5)
わりとよくある	2(1.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(7.7)
合計	168(100.0)	7(100.0)	47(100.0)	57(100.0)	44(100.0)	13(100.0)

b) 指導の有効性

表20 教員が継続的に監視(表17)×生徒等からの報告の有無(表19) (*) 単位: 学校数(%)

生徒等からの報告の 教員が継続的に監視 有無	まだない	何回かあった+ わりとよくある	計(%)
継続的に監視をしている	22(42.3)	30(57.7)	52(100.0)
していない	69(63.3)	40(36.7)	109(100.0)
合計	91(56.5)	70(43.5)	161(100.0)

表21 報告するように指導(表18)×生徒等からの報告の有無(表19) (***) 単位: 学校数(%)

生徒等からの報告の 報告するよう指導 有無	まだない	何回かあった+ わりとよくある	計(%)
報告するよう指導している	21(35.6)	38(64.4)	59(100.0)
していない	70(69.3)	31(30.7)	101(100.0)
合計	91(56.9)	69(43.1)	160(100.0)

3) 管理者への対応

表 2 2 学校としてサイトの管理者に削除を求めることがあったか

選択肢	学校数(%)
1. まだない	109 (63.4)
2. 何回かあった	61 (35.5)
3. わりとよくある	2 (1.2)
計	172 (100.0)

表 2 3 不適切な書き込みは学校としてサイトの管理者に削除を求めるべきか 単位:学校数(%)

項目	はい	いいえ
管理者が分からない以上現状ではどうしようもない	84 (49.1)	87 (50.9)
管理者を特定できる方法(法律等)をつくるべきである	178 (100.0)	0 (0.0)

(6) 今後の学校での対応策

表 2 4 今後の学校での対応策

単位:学校数(%)

対 応 策	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要
4) 裏サイトの監視を(有料の)業者に委託する	116(68.2)	41(24.1)	13(7.6)
6) P T A が裏サイトを継続的に監視する	99(57.6)	55(32.0)	18(10.5)
2) 裏サイト問題に対応する教員を置く	92(53.5)	61(35.5)	19(11.0)
3) 教員が裏サイトを継続的に監視する	61(35.5)	68(39.5)	43(25.0)
1) 職員会議等で専門家を呼んで勉強会を開く	46(26.6)	107(61.8)	20(11.6)
8) 全校集会等で裏サイトへの悪質な書き込みの禁止を訴える	45(25.9)	66(37.9)	63(36.2)
9) 特別に時間を設けて生徒に裏サイトのモラル等を指導する	29(16.4)	79(44.6)	69(39.0)
5) 保護者に注意を呼びかける	16(9.1)	78(44.3)	82(46.6)
7) 生徒に注意を呼びかける	16(9.1)	78(44.3)	82(46.6)
10) (人を中傷する行為をしないように) 道徳教育を強化する	7(4.0)	63(35.6)	107(60.5)

「3) 教員が裏サイトを継続的に監視する」については、大都市の学校で「直ちに必要」と回答した割合が40.9%。

「7) 生徒に注意を呼びかける」「8) 全校集会等で裏サイトへの悪質な書き込みの禁止を訴える」「9) 特別に時間を設けて生徒に裏サイトのモラル等を指導する」「10) (人を中傷する行為をしないように) 道徳教育を強化する」の4つについては、学級数 10 未満と 10 以上で回答パターンが異なり、10 学級以上に「直ちに必要」とする割合が高い。

1) 地域特性別

表 2 5 教員が裏サイトを継続的に監視する(表 24 の 3))

単位:学校数(%)

必要性	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要	合計(%)
地域特性				
1. 大都市	10(45.5)	3(13.6)	9(40.9)	22(100.0)
2. 中小都市	28(32.2)	38(43.7)	21(24.1)	87(100.0)
3. 農山魚村	18(48.6)	11(29.7)	8(21.6)	37(100.0)
4. その他	4(16.0)	16(64.0)	5(20.0)	25(100.0)
合計	60(35.1)	68(39.8)	43(25.1)	171(100.0)

(P<0.01)

2) 学級数別

表 2 6 全校集会等で、裏サイトへの悪質な書き込みの禁止を訴える (表 24 の 8)

学級数 \ 必要性	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要	合計 (%)
1. 1 - 4	5(55.6)	4(44.4)	0(0.0)	9(100.0)
2. 5 - 9	18(34.6)	22(42.3)	12(23.1)	52(100.0)
3. 10 - 14	9(16.1)	19(33.9)	28(50.0)	56(100.0)
4. 15 - 19	9(20.9)	16(37.2)	18(41.9)	43(100.0)
5. 20 以上	4(28.6)	5(35.7)	5(35.7)	14(100.0)
合計	45(25.9)	66(37.9)	63(36.2)	174(100.0)

(P<0.05)

表 2 7 特別に時間を設けて、生徒に裏サイトのモラル等を指導する (表 24 の 9)

学級数 \ 必要性	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要	合計 (%)
1. 1 - 4	3(33.3)	5(55.6)	1(11.1)	9(100.0)
2. 5 - 9	11(21.2)	30(57.7)	11(21.2)	52(100.0)
3. 10 - 14	4(6.8)	25(42.4)	30(50.8)	59(100.0)
4. 15 - 19	7(16.3)	15(34.9)	21(48.8)	43(100.0)
5. 20 以上	4(28.6)	4(28.6)	6(42.9)	14(100.0)
合計	29(16.4)	79(44.6)	69(39.0)	177(100.0)

(P<0.01)

表 2 8 生徒に注意を呼びかける (表 24 の 7)

学級数 \ 必要性	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要	合計 (%)
1. 1 - 4	0(0.0)	7(77.8)	2(22.2)	9(100.0)
2. 5 - 9	7(13.5)	29(55.8)	16(30.8)	52(100.0)
3. 10 - 14	3(5.2)	23(39.7)	32(55.2)	58(100.0)
4. 15 - 19	4(9.3)	13(30.2)	26(60.5)	43(100.0)
5. 20 以上	2(14.3)	6(42.9)	6(42.9)	14(100.0)
合計	16(9.1)	78(44.3)	82(46.6)	176(100.0)

(P<0.05)

表 2 9 (人を中傷する行為をしないように) 道徳教育を強化する (表 24 の 10)

学級数 \ 必要性	まだ必要ない	そろそろ必要	直ちに必要	合計 (%)
1. 1 - 4	0(0.0)	6(66.7)	3(33.3)	9(100.0)
2. 5 - 9	4(7.7)	25(48.1)	23(44.2)	52(100.0)
3. 10 - 14	0(0.0)	16(27.1)	43(72.9)	59(100.0)
4. 15 - 19	2(4.7)	14(32.6)	27(62.8)	43(100.0)
5. 20 以上	1(7.1)	2(14.3)	11(78.6)	14(100.0)
合計	7(4.0)	63(35.6)	107(60.5)	177(100.0)

(P<0.05)

2. 生徒調査を中心に

生徒調査にみるケータイと「学校裏サイト」の現状

深谷和子（東京成徳大学特任）

kazukofukaya@nifty.com

結果の要約：

<ケータイとネット利用>

- 1) ほとんどすべての項目で、男子生徒より女子生徒がケータイ、ネットをよく利用しており、ケータイ・ネット問題とはかなりの部分で「女子問題」かもしれない。
- 2) ケータイ・ネット利用は、部分的に地域差はあるが、大都市、中小都市、農山村間での数値の差は予想より小さい。しかし、部分的に大都市の人間関係の反映もみられる。
- 3) ケータイやネット利用は、生徒の不登校傾向(学校忌避感情)と大きな関連がみられる。
不登校傾向のある生徒は、このツールによって展開される世界に関心をもち、楽しみを見出しているかに思われる。ネット世界は、学校不適応生徒の心の居場所となっており、また逆に、この居場所をもつことが現実(学校)への不適応から回復できない背景になっているかもしれない。参考までに不登校生徒のプロフィールを2部に示した。

<裏サイトへの関心とそこでの攻撃>

- 4) 「クラスや学校に現在掲示板がある」と言っている生徒は17%でしかなく(表15)、「昔あった」も含めて2割。生徒の関心もそれほどではなく(表16)、掲示板の書き込みによって攻撃(学校裏サイトによる誹謗中傷)された経験のある者も1割でしかない(表18)。
- 5) 攻撃者は大都市のほうが特定されにくい(表19-1)ので、生徒の不安も高いと思われる。攻撃されて「とても傷ついた」とする者は2割(表21)。また攻撃が現在も自分の性格にネガティブな影響を残しているとする者も14%(表23)。以上は、どれも女子と不登校傾向者に数字が高い。
- 6) 掲示板に悪意の書き込み(悪口)を「今も時々している」者は3%に過ぎない。(表24)

<まとめと今後の課題>

- 7) 以上を総合すると、多くの健康な生徒にとっては、裏サイトの誘因力はそれほど大きなものではない。日本中に学校裏サイトが林立し、それに生徒が関心を持ち、アクセスし、それによって生徒がみな心に傷を受けているかのような報道は、現実を正しく反映していないのではないか。*20年3月の文科省調査によれば、32,260個の学校非公式サイトが確認されている(URLのある分4,733サイトと33,527スレッドの合計)

裏サイトに関心を持つ者やそこで攻撃されてダメージを受けている者は、世間が受け取

っているよりはるかに少数で、多くの生徒は性格の健康性、強靭性（レジリエンス）をもった存在であり、こうした状況に自分がかかわらないでいるか（関心の外に置いているか）に見受けられる。しかし、女子や一部の傷つき易さをもつ者にとっては、ネット世界は看過できない悪意の侵入を許していると思われる。

8) 今後の課題 2つ

こうしたネット弱者（ネットから悪影響を受けやすい層）への手厚い対応が今後の課題と思われる。また「学校裏サイト」より、ブログ、プロフ等の方が、より重大な問題を発生させる可能性もあり、さらに継続的研究が必要であろう。

<データ処理>

生徒の属性の中で有効だったのは、性別、不登校傾向、地域（多少）であり、それらをキーとして分析を行った。クロス集計に使用した項目の数値は以下の通り（付表A，B）である。サンプル数の合計は（中2）2,222名。

表A 不登校傾向（学校へ行きたくないと思うこと）%（カッコ内は実数）

	よくある	多少ある	あまりない	全然ない
男子	16.9 (193)	37.4 (428)	28.1 (321)	17.6 (201)
女子	20.8 (219)	43.7 (460)	25.0 (263)	10.5 (110)
全体	18.8 (412)	40.5 (888)	26.6 (564)	14.2 (311)

表B 地域

	大都市	中小都市	農山村	その他
男子	5.3 (60)	52.1 (590)	36.0 (408)	6.6 (75)
女子	5.7 (60)	52.1 (544)	37.0 (384)	5.2 (54)
全体	5.5 (120)	52.1 (1134)	36.5 (795)	5.9 (129)

*左端に寄せて表示した危険率は男女とも有意。

*同時期に行われた文科省調査「青少年が利用する学校非公式サイトに関する調査報告書」（平成20年3月）のサンプルは、群馬、静岡、兵庫県の中学生・高校生 2,418名（回収率63%）であった。

<本資料の構成>

第1部 <中学生のネット利用の現状 見えてきたネット弱者>

-) ネット利用の現状 (p3~9)
-) ネットによる攻撃とそのダメージ (p9~13)
-) その他 (p13)

第2部 <不登校傾向のある生徒のプロフィール> (p14~16)

第1部 <中学生のケータイ利用の現状 見えてきたネット弱者>

) ネット利用の現状

表1 自分用のケータイがあるか(再掲)

	はい	いいえ
男子	43.6	56.4
女子	58.9	41.4
全体	50.9	49.1

($p < .001$) *女子に多いケータイ所有者

表2 自分用のケータイをもったのはいつからか

	小学校	中学校	その他
男子	29.4	68.9	1.5
女子	44.4	54.3	1.3
全体	37.8	60.8	1.5

($p < .001$) *女子が早くからもつようになっている

表3 学校へ行くときケータイをもっていくか

	いつも	時々	もって いかない
男子	9.3	9.5	81.2
女子	8.9	13.9	77.1
全体	10.1	11.5	78.4

($p < .05$) *登校時にはもたない。注) 親からの希望で許可する場合もある。学校で預かる場合も。

(表4省略)

表5 塾や外出の時にケータイをもっていくか

	いつも	時々	もって いかない
男子	82.2	15.8	2.0
女子	91.6	7.6	0.8
全体	87.4	11.2	1.3

($p < .001$) *女子のほうがもっていく

表6 ケータイで電話とメールのどちらを多く使うか

	殆ど電話	電話が多い	同じ位	メールが多い	殆どメール
男子	2.8	6.7	16.0	56.1	18.4
女子	1.1	1.8	14.4	56.4	26.4
全体	1.8	4.0	15.1	56.3	22.9

($p < .001$) *ケータイの今は、ほとんどメール機能

(表7省略)

表8 ケータイで一番メールする相手

	家の人	友だち	それ以外	使わない
男子	3.8	88.3	3.8	2.3
女子	4.1	90.9	4.2	0.8
全体	4.0	89.7	4.1	2.3

($p < .001$) *メールする相手はほとんどが友人

表9 ケータイ機能の利用(よくする者)

	全体(男子、女子) (よくする)	全体(男子、女子) (よくする・時々する)
<通信機能>(%)		
・HPを見る	36.0(25.7、44.2)	64.8(56.4、71.6)
・掲示板を見たり書いたり	20.9(13.8、26.6)	44.1(35.2、51.2)
・ブログを読んだり書いたり	19.5(10.6、26.5)	40.3(27.1、50.1)
・mixiを読んだり書いたり	4.2(3.5、4.7)	10.5(7.4、12.9)
<楽しむ機能>(%)		
・音楽を聞く	59.2(54.7、62.7)	83.7(82.2、84.8)
・音楽等のダウンロード	54.8(48.5、59.7)	82.6(80.2、84.4)
・カメラを使う	37.8(26.8、46.7)	85.5(77.8、91.6)
・ゲームをする	18.5(23.7、14.4)	55.2(67.0、31.4)

*ケータイは女子が楽しむ道具(おもちゃ)。ゲーム以外は女子がよく利用している

表9-1 どんなケータイ機能を使うか×不登校傾向

1) HPを見る

	<男子>			<女子>		
	よく見る	時々見る	見ない	よく見る	時々見る	見ない
不登校傾向	41.2	26.7	32.2	56.6	23.5	19.9
多少ある	26.7	33.9	39.4	46.4	26.8	26.8
ない	18.8	30.0	51.2	34.0	30.1	35.9

2) 掲示板を見たり書いたり

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	27.8	15.6	56.7	40.4	22.1	37.5
多少ある	13.9	20.6	65.6	27.1	26.7	46.2
ない	8.0	23.9	68.1	17.3	24.0	58.7

3) ブログを読んだり書いたり

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	24.4	13.3	62.2	33.8	26.5	39.7
多少ある	7.3	17.5	75.1	25.7	23.8	50.6
ない	7.7	17.2	75.1	23.2	21.7	55.1

4) ゲームをする

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	30.7	37.8	32.2	22.8	33.8	43.4
多少ある	20.6	48.6	30.6	13.1	33.1	53.8
ない	23.2	41.2	35.5	10.1	28.2	61.2

5) 音楽などのダウンロード

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	53.3	27.8	18.9	74.6	15.2	10.1
多少ある	51.6	28.6	19.8	58.9	27.9	13.2
ない	44.1	35.7	20.2	51.4	26.7	21.9

6) 音楽を聞く

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	60.7	24.7	14.6	73.2	13.0	13.8
多少ある	56.6	25.8	17.6	62.2	27.9	9.9
ない	50.7	30.0	19.2	56.9	20.1	23.0

表 10 友だちにメールする時間帯

<時間帯>	性別	よくする	ときどきする	しない
家を出るまで	男子	2.3	28.9	68.8
	女子	6.9	39.2	53.9
登校途中	男子	2.1	2.1	95.9
	女子	2.4	3.5	92.1
授業中	男子	1.6	2.3	96.1
	女子	1.7	3.3	95.0
休み時間	男子	1.6	2.8	95.6
	女子	2.1	4.0	94.0
帰り道	男子	2.8	7.2	90.6
	女子	4.5	7.8	87.7
塾や外出先で*	男子	30.0	39.3	30.7
	女子	43.2	38.0	18.8
帰宅してから*	男子	70.6	27.9	1.5
	女子	80.8	18.7	0.5

($p < .001$) * 外出先や帰宅してから、友人にメールするのは女子に多い。

10-1 朝家を出る迄にメールする×不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	7.6	31.6	60.8	15.8	36.1	48.1
多少ある	1.2	30.1	68.7	4.8	42.1	53.2
ない	1.1	27.4	71.6	3.6	38.3	58.0

*不登校傾向のある生徒は朝家を出るまでも、よくメールしている ($p < .001$)

表 10-2 下校途中でメールする×不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	よくする	時々する	しない	よくする	時々する	しない
不登校傾向	10.3	16.7	73.1	12.9	11.4	75.8
多少ある	1.2	5.6	93.2	2.8	8.8	88.4
ない	1.1	4.8	94.1	1.0	4.2	94.8

($p < .001$) *不登校傾向のある生徒は下校途中も、よくメールしている

表 11 1日の送受信回数

	殆どしない	10回以内	10~20回	20~30回	それ以上	分からない
男子	7.1	27.1	22.9	13.6	15.8	13.4
女子	5.8	21.8	21.5	15.9	20.5	14.5
全体	6.4	24.1	22.1	14.9	18.5	14.1

*分散が大きい

表 12 友人からのメールにすぐ返信するか

	すぐ返信する	時間ができたら
男子	67.0	33.0
女子	64.6	35.4
全体	65.6	34.4

*即レスは常識

表 13 返信がすぐ来ないとムカつくか

	とてもムカつく	少しムカつく	あまり気にならない
男子	3.7	14.6	81.7
女子	2.7	17.9	79.4
全体	3.1	16.5	80.4

*相手への関心によって違うそうである

表 13-1 すぐ返信がないと<とても・少しムカつく>×地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	13.4	20.5	12.0
女子	34.0	21.6	15.4

*大都市の女子は即レスでないとムカつく(人間関係に過敏?)

表 14 自分のHPや掲示板をもっているか

	HPがありよく更新する	殆ど更新しない(+中止)	HPをもっていない
男子	6.4	12.1	81.5
女子	24.6	18.9	56.4
全体	15.1	15.4	69.5

($p < .001$) *女子がHPや掲示板を利用する

表 14-1 HPを開いていて<よく書き込んだり更新する> × 地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	8.3	7.7	4.2
女子	35.0	24.5	24.8

*とりわけ大都市の女子が利用

表 14-2 HPを開いていてよく書き込んだり更新する × 不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	よくする	更新せず	開いていない	よくする	更新せず	開いていない
不登校傾向	12.6	20.9	66.5	31.5	24.1	44.4
多少ある	6.4	11.1	82.5	24.2	18.5	57.3
ない	4.3	9.7	86.5	21.2	16.9	61.8

*不登校傾向のある子がHPを利用している

($p < .001$)

表 15 クラスや学年に現在掲示板があるか

	今もある	昔、あったが つぶされた	知らない
男子	13.9	4.4	81.8
女子	21.2	5.1	73.7
全体	17.4	4.7	77.9

($p < .05$) *世間が思うほどは、掲示板は多くなさそうである

表 15-1 クラスや学年の掲示板<今ある> × 地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	15.0	16.0	10.6
女子	19.0	23.7	19.3

*地域差は少ない

表 15-2 クラスや学年の掲示板的の有無 × 不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	今もある	昔あった	聞いた ことがない	今もある	昔あった	聞いた ことがない
不登校傾向	22.0	7.9	70.2	26.6	6.0	67.4
多少ある	14.7	4.5	80.8	24.6	5.5	69.9
ない	10.4	2.9	86.8	13.9	4.1	82.0

($p < .001$) *不登校傾向のある生徒は、掲示板に関心をもっている

表 16 悪口を言い合うサイト（学校やクラスの裏サイト）があったら

	積極的に参加したい	時々覗いてみるだろう	一度位は覗いてみるだろう	関心がないので見ないだろう
男子	3.8	18.8	20.2	57.1
女子	3.2	30.1	31.4	35.2
全体	3.5	24.2	25.6	46.7

($p < .001$) * それほど関心は高くない。とくに男子は。

表 16-1 悪口を言っているサイト（学校裏サイト）への関心×地域

< 積極的におしゃべりに参加したい・時々覗いてみるだろう > %

	大都市	中小都市	農山村
男子	20.0	24.9	20.6
女子	46.7	33.2	31.9

* 大都市の女子が関心をもつ

表 16-2 悪口を言っているサイト（学校裏サイト）への関心×不登校傾向

	< 男子 >				< 女子 >			
	積極的に参加したい	時々覗いてみたい	1 度位は	関心がない	積極的に参加したい	時々覗いてみたい	1 度位は	関心がない
不登校傾向	11.1	20.9	21.5	46.6	6.9	36.6	26.4	30.1
多少ある	2.6	21.9	19.6	55.9	2.6	29.8	32.4	35.2
ない	2.3	15.6	20.7	61.4	1.6	26.6	33.9	37.9

($p < .001$) * 不登校傾向のある生徒が裏サイトに関心をもっている

）ネットによる攻撃とそのダメージ

表 17 掲示板の書き込みが（他人事でも）不愉快だと思ふことがあるか

	よくある	たまにある	ない	掲示板を見たことがない
男子	5.1	15.1	22.1	57.8
女子	9.7	27.2	17.4	45.8
全体	7.3	20.9	19.8	52.0

($p < .001$) * 不愉快な書き込みを目にした生徒はそれほど多くない

表 17-1 書き込みが不愉快だとよく・たまに> 思うこと × 地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	23.4	21.0	19.3
女子	45.0	36.6	35.9

* 多少大都市での問題

表 17-2 掲示板の内容が不愉快だと思うこと × 不登校傾向

	< 男子 >				< 女子 >			
	よくあ る	たまにあ る	ない	掲示板を見 たことがない	よくあ る	たまにあ る	ない	掲示板を見 たことがない
不登校傾向	10.9	16.7	27.1	45.3	13.8	31.2	4.7	40.4
多少ある	3.6	17.5	21.3	57.6	8.3	26.9	20.4	44.4
ない	4.0	12.3	20.9	62.8	8.9	25.2	15.4	50.4

($p < .001$)

($p < .05$)

表 18 掲示板の書き込みで自分が攻撃された経験

	ある	ない
男子	5.9	94.1
女子	13.7	86.3
全体	9.6	90.4

($p < .001$) * 女子が多く経験しているが、全体では1割弱

表 18-1 掲示板で攻撃された経験が<ある> × 地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	12.1	6.2	4.2
女子	24.1	11.6	15.5

* 大都市で起こっている問題か

表 18-2 掲示板で攻撃された経験がある × 不登校傾向

	< 男子 >		< 女子 >	
	経験ある	ない	経験ある	ない
不登校傾向	12.2	87.8	22.2	77.8
多少ある	5.7	94.3	13.8	86.2
ない	3.7	96.3	9.0	91.0

($p < .001$) * 不登校傾向のある子に攻撃された経験者が多い

表 19 攻撃された経験がある人は、誰から攻撃されたか分かったか

	絶対あの人だと見当がついた	多分あの人だろう(はっきりしなかった)	全く分からなかった
男子	42.9	16.9	46.2
女子	47.9	36.8	29.9
全体	46.2	29.9	24.0

($p < .001$) * 男子に相手を特定できない生徒が多い

表 19-1 誰から攻撃されたか<絶対あの人だと>見当がついた×地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	30.0	45.0	47.1
女子	37.5	44.4	56.1

*農山村、中小都市より、農山村のほうが相手を特定しやすいようである

表 20 攻撃されて誰かに相談したか

	先生に	親に	友だちに	相談せず
男子	7.8	7.8	22.1	62.3
女子	3.6	5.5	54.5	36.4
全体	5.3	6.4	41.2	47.2

($p < .001$) * 男子は相談しない者が多い。女子は仲間に相談する

表 21 攻撃されて傷ついたか

	とても傷ついた	少し傷ついた	殆ど傷つかなかった	全く傷つかなかった
男子	16.5	20.3	11.4	51.9
女子	21.1	33.1	21.1	24.6
全体	19.5	28.5	17.6	34.4

($p < .001$) * 女子のほうが傷ついたとする者が多い。

表 21-1 攻撃されて<とても傷ついた>×地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	20.0	20.5	5.0
女子	33.3	16.1	22.8

* 大都市女子の傷つきやすさが見える

表 22 不愉快な書き込みに、書き込んで抗議するか

	その都度書き込む	時々抗議する	放っておく
男子	16.7	28.6	54.8
女子	13.3	23.1	63.6
全体	14.5	25.1	60.4

*そのままにしておく生徒が多い

表 23 メールでの攻撃が現在の自分の性格に影響しているか

	自信をなくした	立ち直った	すぐ忘れた
男子	8.4	21.7	69.9
女子	17.1	32.9	50.0
全体	13.9	28.7	57.4

($p < .001$) * 現在まで影響が残る者は1割強に過ぎないが、女子に多い

表 23-1 攻撃されて<自信をなくした> × 地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	10.0	7.3	9.5
女子	26.7	14.8	17.9

* 大都市女子の傷つきやすさが見える

表 23-2 攻撃されて自信をなくした × 不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	自信を無くした	もう立ち直った	すぐ忘れた	自信を無くした	もう立ち直った	すぐ忘れた
不登校傾向	23.1	19.2	57.7	28.3	26.1	45.7
多少ある	1.0	34.5	65.5	8.1	41.9	50.0
ない	3.7	11.1	85.2	1.8	7.3	90.9

($p < .01$)

($p < .05$)

* 不登校傾向のある生徒に影響が大きい

表 24 掲示板に人の悪口を書き込んだ経験

	今も時々書いている	一時書いたことがあるがやめた	一度もない
男子	2.6	7.6	89.8
女子	3.8	9.5	86.7
全体	3.2	8.5	88.3

*そうした書き込みを今もするのは5%以下で一部の生徒に過ぎない。一時書いてもやめた子が1割弱。

表 24-1 掲示板などに<今も時々>悪口などを書き込んでいる×地域

	大都市	中小都市	農山村
男子	8.5	2.5	1.4
女子	7.3	3.7	2.9

*やや大都市の生徒が書き込みする

表 24-2 悪口の書き込みをしたこと×不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	今も時々	一時した	1度もない	今も時々	一時した	1度もない
不登校傾向	6.3	14.6	79.1	9.3	13.0	77.7
多少ある	1.8	8.6	89.6	2.9	9.8	87.4
ない	2.0	4.4	93.6	1.8	7.3	90.9

($p < .001$) *不登校傾向のある生徒が書き込みをする

) その他

表 25 先生方はクラスや学年の掲示板を知っていると思うか

	殆どの先生が知っているだろう	知っている先生がいるかも知れない	殆ど知らないだろう	掲示板がない
男子	10.8	25.0	30.1	34.0
女子	17.4	31.7	25.6	25.4
全体	14.0	28.3	27.9	29.8

($p < .001$) *女子のほうが先生が掲示板を知っていると思っている。掲示板が現在ないとする者も3割。

表 26 ケータイにフィルタリングがついているか

	ついている	ついていない	わからない
男子	12.3	23.1	64.6
女子	16.4	25.7	57.8
全体	14.3	24.4	61.3

($p < .001$) *わからないとする者が多い。とりわけ男子。

第2部<ネット弱者 不登校傾向のある生徒のプロフィール>

表27 学校は楽しいか×不登校傾向

<男子> ($p < .001$)

	とても	わりと	どちらでもない	あまり楽しくない	全然楽しくない
不登校傾向	9.3	20.7	23.3	18.7	28.0
多少ある	20.7	50.2	23.8	6.3	1.6
ない	47.2	42.0	8.4	0.4	1.9

<女子> ($p < .001$)

	とても	わりと	どちらでもない	あまり楽しくない	全然楽しくない
不登校傾向	6.9	24.0	22.1	22.6	24.4
多少ある	20.7	51.2	20.9	7.0	0.2
ない	35.1	49.6	11.3	2.9	1.1

*当然のことだが、不登校傾向のある生徒は学校が楽しくない

表28 部活への積極性×不登校傾向

	<男子>			<女子>		
	運動部で積極的に	それ以外	部活をしていない	運動部で積極的に	それ以外	部活をしていない
不登校傾向	60.7	19.4	19.9	35.5	57.2	21.7
多少ある	73.2	15.5	11.3	52.2	38.0	9.8
ない	77.5	13.2	9.3	56.7	35.5	7.8

($p < .001$)

($p < .001$)

*男女で傾向が違う

女子の不登校傾向は、部活をしていないか不活発な生徒に多い

表29 平日のテレビ視聴時間×不登校傾向

	<男子>				<女子>			
	30分以下	1~1.5時間	2~2.5時間	3時間以上	30分以下	1~1.5時間	2~2.5時間	3時間以上
不登校傾向	14.0	23.5	34.4	28.1	10.6	24.5	29.4	35.5
多少ある	6.9	28.4	39.7	24.9	7.7	28.1	39.5	24.8
ない	8.5	30.3	42.3	18.9	8.8	28.4	38.6	24.1

*テレビを見ない子とみる子が両極

表 30 1日の家での平日の勉強時間×不登校傾向

	<男子>				<女子>			
	30分以下	1~1.5時間	2~2.5時間	3時間以上	30分以下	1~1.5時間	2~2.5時間	3時間以上
不登校傾向	41.9	22.5	23.5	12.0	41.5	18.4	26.8	13.3
多少ある	24.3	26.2	38.7	10.8	21.5	25.2	38.2	15.1
ない	19.9	25.7	40.0	14.3	17.3	28.3	39.3	15.1

($p < .001$)

($p < .001$)

*不登校の生徒にはほとんど勉強しない生徒が多い

表 31 授業のある日にテレビゲームをする時間×不登校傾向

<男子> ($p < .001$)

	ほとんどしない	30分以下	1時間位	1時半位	2時間かそれ以上
不登校傾向	35.4	12.0	14.6	7.3	30.7
多少ある	32.4	18.8	19.2	12.4	17.2
ない	32.4	17.9	22.3	11.1	16.3

<女子> ($p < .001$)

	ほとんどしない	30分以下	1時間位	1時半位	2時間かそれ以上
不登校傾向	76.4	7.4	5.6	2.8	7.8
多少ある	78.6	9.4	5.7	3.3	3.0
ない	81.9	8.6	4.9	1.9	2.7

*分散が大。男子にはゲームにはまっている生徒が3割もいる

表 32 学校の成績×不登校傾向

<男子> ($p < .001$)

	上のほう	中の上	ふつう	やや下のほう	下のほう
不登校傾向	10.9	13.5	21.8	20.2	33.7
多少ある	11.1	17.9	32.5	21.9	16.5
ない	13.8	21.5	33.4	17.3	14.0

<女子> ($p < .001$)

	上のほう	中の上	ふつう	やや下のほう	下のほう
不登校傾向	6.0	7.8	34.4	22.9	28.9
多少ある	6.4	17.6	36.5	24.2	15.4
ない	9.6	22.5	36.0	19.2	12.5

*男女とも不登校傾向をもつ生徒には成績が下の生徒が多い

表 33 自己像×不登校傾向
「とてもそう」「わりとそう」の割合

		男子	女子
1) スポーツが得意か($p < .001$)	不登校傾向	51.6	37.3
	多少ある	60.9	40.9
	ない	58.5	45.2
2) 同じ学校の友人が沢山いる($p < .001$)	不登校傾向	69.7	67.2
	多少ある	81.5	80.2
	ない	88.4	86.2
3) 学校以外の友人が沢山いる	不登校傾向	47.0	54.6
	多少ある	45.2	49.6
	ない	47.9	49.7
4) 会ったことないネット上の友人が沢山いる($p < .001$)	不登校傾向	27.1	30.4
	多少ある	12.8	22.2
	ない	11.1	15.5
5) 友だちというより一人であるほうが好き($p < .001$)	不登校傾向	45.5	36.1
	多少ある	29.6	26.3
	ない	17.9	12.5
6) ケータイでゲームをするのにはまっている($p < .001$)	不登校傾向	16.2	13.2
	多少ある	10.7	9.0
	ない	8.3	7.7
7) オンラインゲームにはまっている($p < .001$) ($p < .01$)	不登校傾向	28.6	15.8
	多少ある	18.6	6.2
	ない	14.3	6.7
8) 朝までゲームをしてしまうことがよくある($p < .001$)	不登校傾向	18.5	10.6
	多少ある	5.9	2.9
	ない	3.6	1.3
9) ゲームをしているときの自分はとても有能だ($p < .01$) ($p < .001$)	不登校傾向	40.6	19.0
	多少ある	18.6	10.1
	ない	14.3	5.9

(以上)

「学校裏サイト」問題と地域及び生徒の意見

西本裕輝（琉球大学）

(hirokin@lab.u-ryukyu.ac.jp)

結果の要約：

- 1) 生徒はケータイ利用や裏サイト問題への規制や対応策について、批判的、悲観的な目で見ている（図2 - 1 参照）。
- 2) その傾向は特に女子に強い（表2 - 2 - 1 参照）。
- 3) ケータイの学校への持ち込み率は学校側の予測をはるかに超えている（図2 - 3 - 1 参照）。
- 4) 生徒の裏サイトへの接触状況については、学校側の予想を上回っている（図2 - 3 - 2 参照）。
- 5) 裏サイト問題について学校側が講じようとする対策（全校集会、道徳教育など）に対して、学校側の期待は高く、生徒側は醒めた目で見ている（図2 - 3 - 3 参照）。

(1) 生徒の意識

ここではケータイ利用や学校裏サイトに関する生徒の意識や意見について尋ねた結果を中心に分析したい。まず、項目は7つでそれぞれについて3件法で尋ねている。それをまとめたものが次のグラフである。「とてもそう思う」と回答した生徒の%に注目すると、「道徳教育などの時間に、時間をかけて何時間も教育すれば、効果があると思う」(10.4%)、「全校集会などで生徒に注意しても、良識のない生徒（管理人や利用者）には通用しないから、ムダだと思う」(24.2%)、「学校は、生徒のケータイ利用についてあれこれ言うべきでない」(27.6%)など、生徒の意識はおおむね、学校側の対応に対しては批判的であると言えるだろう。

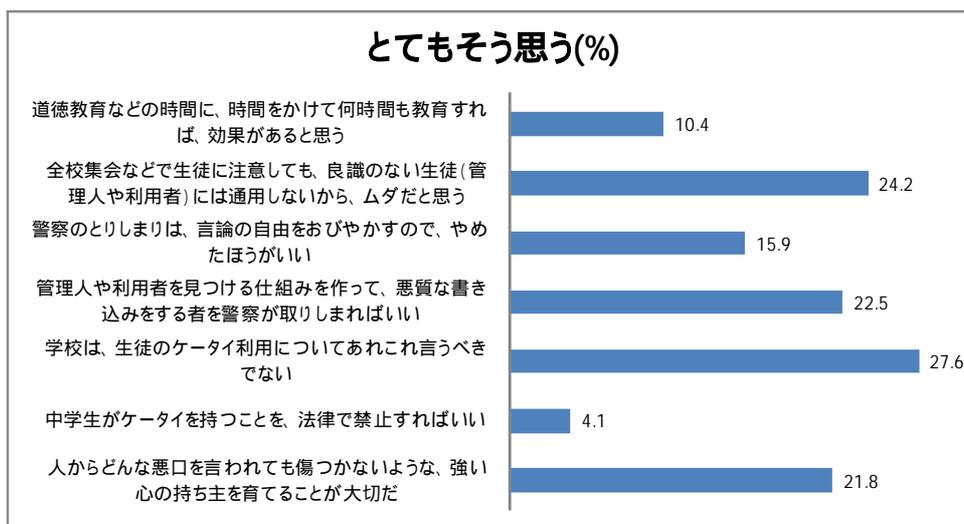


図 2 - 1) 裏サイトに関する生徒の意識

(2) 属性による意識の違い

では、上に挙げた 7 項目について、属性による差があるかどうかを、カイ 2 乗検定等により検討したい。

1) 性差

まず、性による分析では多くの項目に有意差が見られた。例えば「道徳教育などの時間に、時間をかけて何時間も教育すれば、効果があると思う」に関しては、「あまりそう思わない」率が、男子 51.2%、女子 60.8%であった。

表 2 - 2 - 1 - 1) 道徳教育に関する意識の性差 (1%水準で有意)

	道徳教育などの時間に、時間をかけて何時間も教育すれば、効果があると思う			合計	
	とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう思わない		
性 男子	度数	144	414	585	1143
	性の %	12.6%	36.2%	51.2%	
女子	度数	81	329	635	1045
	性の %	7.8%	31.5%	60.8%	
合計	度数	225	743	1220	2188
	性の %	10.3%	34.0%	55.8%	

また「中学生がケータイを持つことを、法律で禁止すればいい」に関しては、「あまりそう思わない」率で、男子が 83.1%、女子が 92.4%であった (いずれも 1%水準で有意)。

表2 - 2 - 1 - 2) 法律規制に関する意識の性差 (1%水準で有意)

			中学生がケータイを持つことを、法律で禁止すればいい			合計
			とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう 思わない	
性	男子	度数	65	128	949	1142
		性の%	5.7%	11.2%	83.1%	100.0%
	女子	度数	23	57	970	1050
		性の%	2.2%	5.4%	92.4%	100.0%
合計		度数	88	185	1919	2192
		性の%	4.0%	8.4%	87.5%	100.0%

警察で取りしめる方がよいかどうかについても、女子の方が規制に対して反対する傾向が見られた。「あまりそう思わない」率で見ると、男子 35.6%、女子 45.0%と、10ポイントの差がついている。

表2 - 2 - 1 - 3) 警察の取りしまりに関する意識の性差 (1%水準で有意)

			管理人や利用者を見つける仕組みを作って、悪質な書き込みをする者を警察が取りしめればいい			合計
			とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう 思わない	
性	男子	度数	301	436	408	1145
		性の%	26.3%	38.1%	35.6%	100.0%
	女子	度数	192	381	469	1042
		性の%	18.4%	36.6%	45.0%	100.0%
合計		度数	493	817	877	2187
		性の%	22.5%	37.4%	40.1%	100.0%

これらのことから、女子の方が規制や学校の講じる対策に対して批判的、悲観的な意見を持っていることがわかる。これは、別の箇所でもふれられているように、女子の方がケータイの所有率が高く（男子 43.6%、女子 58.9%と約 20%の開き）よく利用していることと関わっていると思われる。

2) 地域差

次に地域差について検討を行った。他の分析でもふれられているように、実は地域差があまり見られないのがこの問題の特徴とも言える。よってここでも顕著な差は見られなかったが、「学校は、生徒のケータイ利用についてあれこれ言うべきでない」の項目にのみ 5%水準で差が見られた。「とてもそう思う」率で比べると、大都市で 25.7%、中小都市で 26.5%、農山村で 30.1%であった。これら三つの地域ではケータイの所有率が大きく異なっている（大都市 68.2%、中小都市で 54.0%、農山村で 38.7%）一方で、現在ほぼすべての学校でケータイの持ち込みが禁止されている（学校調査より）にも関わらず、ケータイ所持者

のうち実際に学校に持ち込んでいる割合が大都市で高い（大都市 89.7%、中小都市で 74.9%、農山村で 80.1%）ことから考えると、ケータイ所有率の低い地域ほど、また持ち込みの黙認がなされていない地域ほど学校の対応に批判的であることがわかる。大都市部ではケータイ所持率が高く、学校側も持ち込みを黙認するケースが多いが、その他の地域ではそれほど所持率が高くないので、比較的厳しく指導していることと関連していると予測できる。

表2 - 2 - 2 - 1)ケータイ利用に関する意識の地域差(5%水準で有意)

			学校は、生徒のケータイ利用についてあれこれ言うべきでない			合計
			とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう思わない	
地域特性	大都市	度数	83	128	112	323
		地域特性の%	25.7%	39.6%	34.7%	100.0%
	中小都市	度数	307	401	449	1157
		地域特性の%	26.5%	34.7%	38.8%	100.0%
	農山村	度数	218	272	234	724
		地域特性の%	30.1%	37.6%	32.3%	100.0%
合計	度数	608	801	795	2204	
	地域特性の%	27.6%	36.3%	36.1%	100.0%	

(3)生徒の実態と学校側の認識のズレ

最後に生徒の意識と学校側の方針や認識のズレについて検討したい。ここでは、学校調査と生徒調査の双方に参加している学校 58 校分のみの学校調査データ（サンプル数 58）・生徒調査データ（サンプル数 2002）を用い、趣旨が同じ質問項目の照合、比較を通して、学校側と生徒側の差異を明らかにする。

1)ケータイ所持

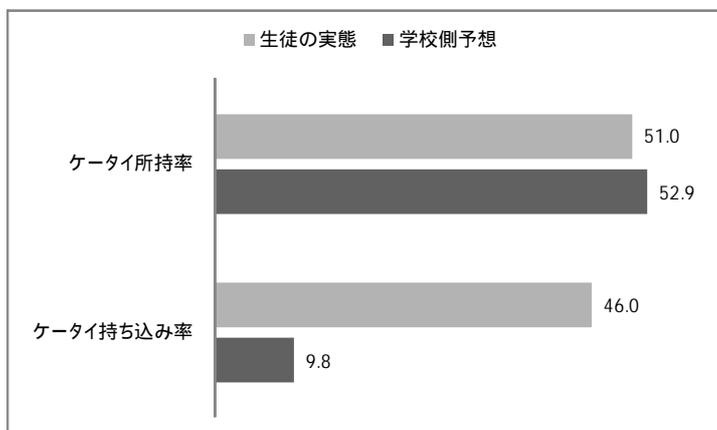


図 2 - 3 - 1) ケータイ所持に関するズレ

まずケータイの所持についてであるが、学校調査では、「自分用のケータイを持っている生徒」が学校に何%くらいいるのかについてその数値を尋ねている。その数値は上のグラフの通り平均で 52.9%であった。これは、生徒調査でケータイを「持っている」と回答した生徒 51.0%とほぼ一致している。その意味では、学校側はある程度正確に生徒の実態を把握していると言える。

ただし、どの程度の生徒がケータイを学校に持ち込んでいるかについては、大きなズレがあるように思われる。調査対象中ほとんどの学校（96.5%）で、ケータイは「学校への持ち込み禁止」となっているにもかかわらず、実際はケータイを所持している生徒のほとんどが学校にケータイを持ち込んでいる。ケータイを所持していない生徒を含めた全体のうちの 46.0%の生徒（ケータイを所持している生徒のうち 8 割）は授業がある普通の日を持ち込んでいる（いつも持っていく 40.1% + 時々持っていく 5.9%）と回答している。それに対して学校側の予想は、9.8%の生徒が持ち込んでいると認識しているにすぎない。このことは学校側が黙認しているということに加え、そもそも実態を正確に把握できていないということを示していると言えるのではないだろうか。

2)裏サイトへの接触状況

次に、裏サイトへの接触状況について見てみたい。まず、裏サイトに自分のことを書き込まれて嫌な思いをしたことがあるかどうかについてであるが、「ある」と回答した生徒は 9.7%であるのに対し、学校側でそのような生徒のいる割合を予想してもらったところ平均で 8.3%であった。

また、自分のことでなくても裏サイトに書き込まれた内容を見て嫌な思いをしたことのある生徒は、実際には 28.1%（よくある 7.2% + たまにある 20.9%）とほぼ 4 人に 1 人いるのに対し、学校側は 13.1%と把握しており、大きな開きがある。特に生徒のうち 52.0%が「掲示板を見たことがない」と回答していることからしても、掲示板を見ている多くの生徒が嫌な思いをしていることになる。

実際に裏サイトに他人の悪口の書き込みをしたことのある生徒も 11.5%（今も時々書いている 3.2% + 一度あったがやめた 8.3%）いた。これも学校側の認識の 7.8%を上回っている。

以上から、学校側は生徒の実態をある程度把握しているものの、実際よりも少なく見積もっている傾向があることがわかる。

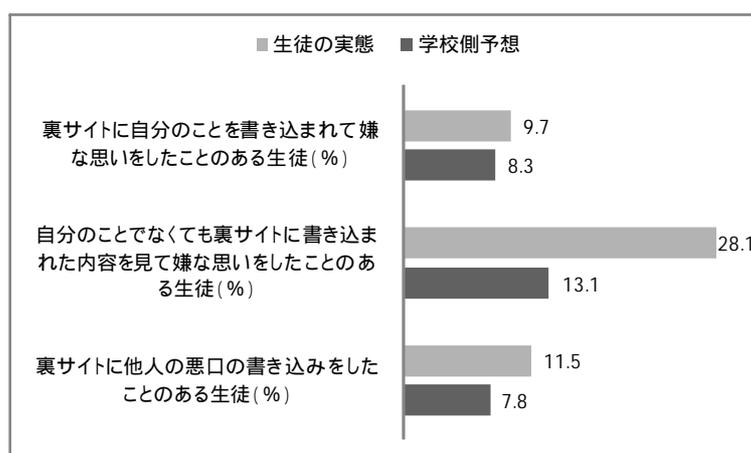


図 2 - 3 - 2) 裏サイトへの接触状況に関するズレ

3) 裏サイトへの対応策

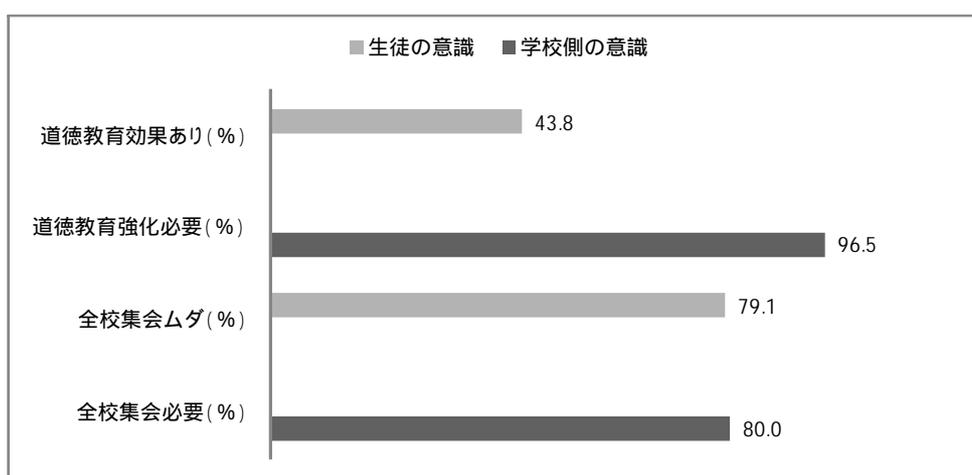


図 2 - 3 - 3) 裏サイト問題への対応に関するズレ

次に、裏サイト問題への対応策についての認識のズレについて検討してみたい。生徒調査と学校調査の質問項目が異なるので単純に比較することは難しいが、共通する部分を抜粋して検討してみた。まず道徳教育についてであるが、生徒調査で「道徳教育などの時間に、時間をかけて何時間も教育すれば、効果があると思う」かどうかについて尋ねたところ、「とてもそう思う」…10.3%、「わりとそう思う」…33.5%、「あまりそう思わない」…56.2%となっており、「わりと」を合わせても「そう思う」は43.8%にとどまっている。

一方、学校調査では、「(人の中傷する行為をしないように)道徳教育を強化する」ことの必要性について尋ねている。「まだ必要がない」…3.5%、「そろそろ必要である」…

35.1%、「直ちに必要になっている」…61.4%と、「必要である」を合わせると 96.5%にのぼっており、生徒の意識とは大きく異なり、学校側は道徳教育にかなりの期待をよせていることがわかる。

また、全校集会で注意を呼びかけることについても、大きな認識のズレが見られた。生徒調査で、「全校集会などで生徒に注意しても、良識のない生徒（管理人や利用者）には通用しないから、ムダだと思う」かどうかについて尋ねているが、「とてもそう思う」…24.3%、「わりとそう思う」…54.8%、「あまりそう思わない」…20.9%となっており、79.1%の生徒がムダと感じていることがわかる。

一方、学校調査では、「全校集会等で、裏サイトへの悪質な書き込み禁止を訴える」ことの必要性について尋ねているが、「まだ必要がない」…20.0%、「そろそろ必要である」…43.6%、「直ちに必要になっている」…36.4%と、「必要である」は 80.0%にのぼっている。

学校側の講じる対策について、学校側（教師）の期待は高く、生徒は醒めて見ていると言えそうである。

参考

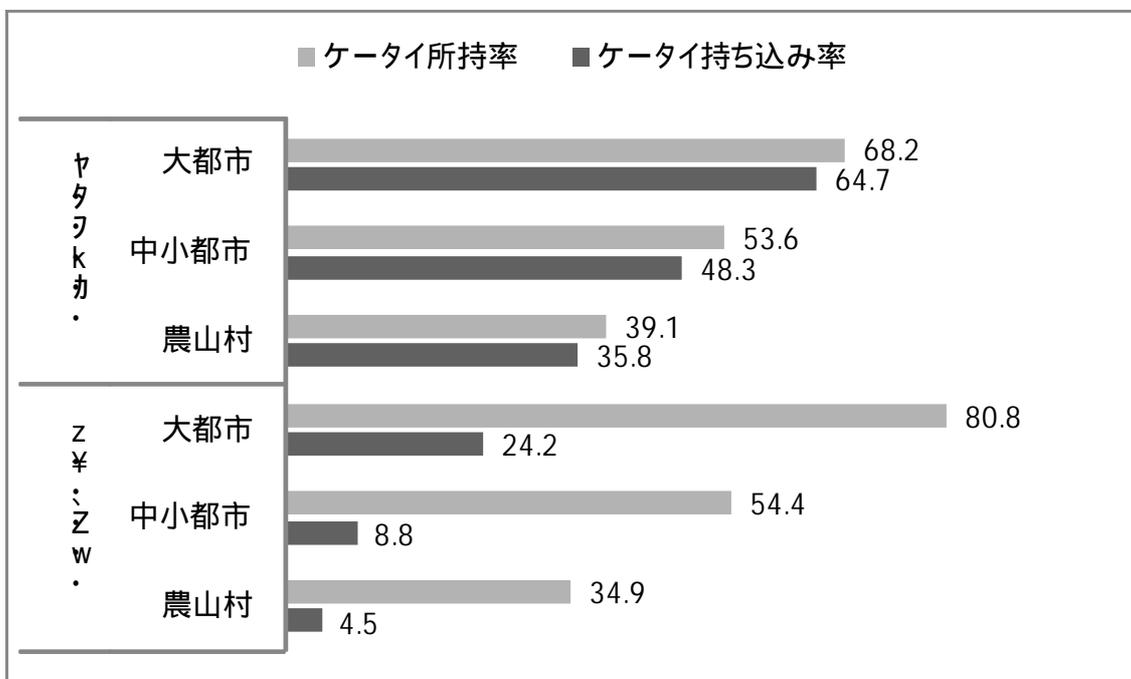


図2 - 4) ケータイ所持・持ち込みに関するズレの地域間比較

ケイタイ問題のまとめ

深谷昌志（東京成徳大学）

1 （大人の仕掛けた）f u nと子どもとの関わり

f u n = （娯楽）社会的に子どもをビジネス対象と見て、子どもに仕掛ける。
伝統的な遊びとは異なる。

	メディア	時期	子どもとの距離	程度
	活動写真	大正中期から	町にf u nが来た	週1程度
	紙芝居	昭和初期、戦後	家の周りにf u nが来た	1日15分程度
	テレビ	昭和30年代後半	家の中にf u nが来た	1日2時間強
」	ファミコン	昭和末から	子ども部屋にf u nが来た	1日に長時間
	ケイタイ	平成10年後半	持ち歩きできるf u n	無制限

他に雑誌（少年倶楽部、立川文庫）、ラジオ（笛吹き童子、赤胴鈴之助）
マンガ（少年サンデー、少年マガジンなど）

2 f u n問題への社会的な対応

	類型	例
	禁止	活動写真 子どもだけの入場禁止、親同行でも平日夜間は禁止
	規制	紙芝居 新作紙芝居の審査、業者の鑑札制度、
	啓蒙活動	テレビー特定番組（「8時だよ!」）放映中止を求める運動

結果 対応策は理解できるが、社会問題化しただけで、成果は少ない。

3 f u n問題に学ぶ

社会的なパニック状態が生まれる。 過剰反応を起こす。

子どもに3タイプ = (1) f u nを活用する層、
(2) f u nと無関係（無関心）な層
(3) f u nに巻き込まれる層
子どもを層化してとらえる

巻き込まれるタイプ = (1) 孤立している
(2) 自信を持ってない
(3) 生活の乱れ

f u n問題への対応 = (1) 積極的な活用
(2) 巻き込まれる子どもを減らす
(3) 心身ともに自立した子どもを育てる